



富士テクノ(株)
代表取締役 河合 拓志さん



機械や手作業で緻密な加工を施す



高専生が現場を視察し共同開発に取り組む

沼津工業高等専門学校

社会に貢献する技術者を養成する5年間一貫の高等教育機関で、地元企業との共同研究や産学官連携の取り組みによる新技術の開発、技術相談等を通じて、地域の産業振興を図っている。
住所：大岡 3600
☎ 055-921-2700

富士テクノ(株)

昭和2年創業の金網小売業から平成11年に事業の軸を金属パイプ加工に変更し、平成14年にはマレーシア法人を設立。小さな部品だが製品の下支えをしているという思いで、緻密な製造にこだわる。
住所：足高 294-22
☎ 055-920-3390

※ファルマバレープロジェクト…県東部地域を中心に、医療からウエルネスまで世界レベルの研究開発を図り、県民の健康増進と健康医療関連事業の振興を図る事業。

Interview 地元企業と連携する沼津高専の声



電子制御工学科
准教授 大庭 勝久さん

企業の課題解決策を研究する授業は全国の高専でも行われていますが、全学科の混成チームで取り組むのが沼津高専の特徴です。地元企業と連携できる貴重な経験を活かし、沼津で活躍する技術者を育てていきたいです。



電子制御工学科
5年 加藤 正純さん

企業の現場を知り共同で研究・開発ができることは学校での学びを応用できる貴重な機会です。企業の課題を一つひとつクリアすることのやりがいと責任感を持って働くことの大切さを実感しています。

02 富士テクノ(株)

産学連携ができる環境

足高の沼津鉄工団地にある富士テクノ(株)は、自動車や家電製品に必要な金属パイプを加工する部品製造会社です。銅や鉄、ステンレスなど様々なパイプ材を顧客のオーダーに合わせて曲げ加工や溶接加工を施します。この生産工程の効率化を図るために、昨年度から沼津工業高等専門学校(以下、沼津高専)と連携した取り組みを行っています。これは授業の一環で、学生が地元企業の抱えている課題を調査・研究し、問題解決に向けた提案をします。学生が地元企業を知り、また技術者として地域産業に貢献できる喜びや地元

沼津ならではの産学連携で成長 沼津高専との共同研究・開発に取り組む

企業で働きたいという意欲を高めるといったメリットにつながっています。

同社の課題は、夜間における安定的な機械の稼働だといえます。これに対し、共同研究では、機械の稼働状況をセンサーで管理し、非常時にはメールで通知する遠隔監視システムを開発することが提案されました。2年目となる今年度も、引き続き高専生と共にこのシステムの導入に向けた研究を続けているところです。

代表取締役の河合拓志さんは「高専生と共同研究・開発できる環境は、自社だけではできない開発をすることができ、企業の可能性を広げることにつながっている」と話しています。

「まず」とそのメリットを語ると共に、「ファルマバレープロジェクト」(*)により、医療産業が集積している県東部地域だからこそ、医療・介護分野への進出に挑戦して、新しい事業が芽生える企業にしていきたいです」と力強く成長への思いを話してくれました。

チャレンジ旺盛なわがまちの
元気で魅力的な企業を紹介!

01 (有)ヤマカ水産

市の補助金を活用し『沼津ひもの』で新商品を開発



(有)ヤマカ水産
専務取締役 小松 寛さん

『ベッシュール』の詰め合わせを手にする小松さん。商品は首都圏の大手百貨店のお歳暮カタログに掲載されるなど販路を広げている

沼津の水産加工業を盛り上げたい

日本一の生産量を誇る沼津のアジのひもの。朝食の定番であるひものですが、パン食の普及と共に魚離れが進み、ひもの加工会社数は最盛期の3分の1程に減少しています。老舗ひもの加工会社(有)ヤマカ水産専務取締役の小松寛さんは、この水産加工業の落ち込みを現場で働きたがら感じていました。「自分が好きな沼津のひものを若い人にもっと味わってほしい。そのためには、沼津のひものに付加価値を与える全く新しい食べ方や商品の考案が必要だと考えたのです」と語る小松さんは、企業の新商品開発を応援する市の地域資源活用開発支援事業補助金を活用し、フランス料理のシエフと共同でワインやパンと楽しむフレンチ風のひもの『ベッシュール』を昨年開発しました。

『ベッシュール』は、水産加工業を活性化して漁業も元気にしたいとの思いから、

沼津を知り尽くす企業だからこそ魅力を伝えたい

沼津は日本一深い駿河湾に面し、サバやシラス、タチウオ、

地元内浦で養殖されたアジをはじめ、県内産の魚を使うことにごこだわっています。また、ハーブや柑橘類で香りを付け、ソースを同封することで、フライパンで簡単に調理できるようにしたことが一般のひものと異なる点だといいます。

小松さんは「新商品の開発を通じて社員からも新しいアイデアが考案されたり、チャレンジを試みたりする雰囲気ができつつあります」と新しい取り組みによって職場に変化が生まれていると話します。

(有)ヤマカ水産

大正元年創業。伝統的な手作業とひもの加工に適した沼津の水道水で作るこだわりあるひものは、沼津市ふるさと納税の返礼品としても人気。若年者や外国人も積極的に雇用している。
住所：志下 629
☎ 055-931-2142

深海魚など豊富な種類の魚が水揚げされます。「豊かな自然がある沼津だからこそできること、他ではまねできない沼津の業者だから出せるアイデアやスキルで、地元沼津の魅力をもっと高め、伝えていきたいです」と、小松さんはその発想力で、地域産業資源の積極的な活用を図ると共に企業の可能性をも広げています。



ご飯だけでなくワインやパンと楽しめる『ベッシュール』は沼津市ふるさと納税の返礼品にも採用。『ベッシュール』はフランス語で“漁師”の意味



(有)ヤマカ水産は特選ひものセットも沼津市ふるさと納税返礼品に採用されている